

令和 4 年度

利尻富士町橋梁長寿命化計画策定業務

令和 4 年 9 月

利尻富士町 建設課

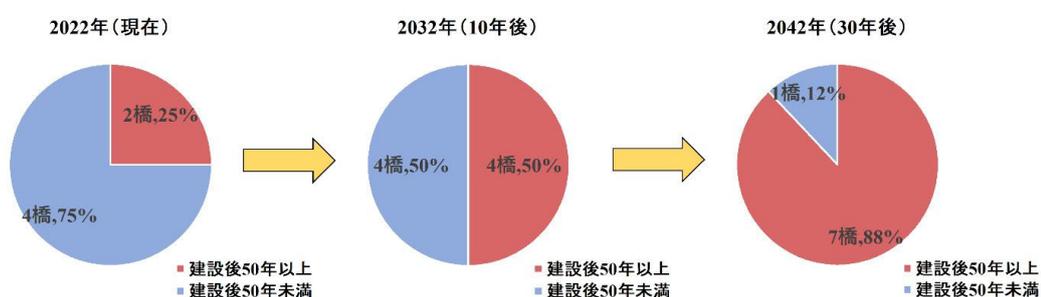
## 利尻富士町の橋梁長寿命化修繕計画

### 1. 長寿命化修繕計画の背景

利尻富士町が管理する道路橋は現在 8 橋あり、このうち建設後 50 年を経過している高齢化橋梁は 2 橋のみだが、10 年後には高齢化橋梁は 4 橋（全体の 50%）となり、急速に高齢化が進んでいく。

今後、増大が予想される橋梁の修繕・架替えに必要な経費に対し、可能な限りコスト縮減への取り組みが不可欠となる。

建設後 50 年以上の橋梁数の推移



### 2. 老朽化対策における基本方針

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

管理橋梁の老朽化に対応するために、従来の事後保全型の対応（損傷が顕在化した後に対策実施）から予防保全型の対応（損傷が顕在化する前に対策実施）に転換を図り、橋梁の寿命を延命すると同時に、重要な地域の道路ネットワークの安全性・信頼性を確保させ、橋梁長寿命化修繕計画により橋梁の修繕・架替えに係るコスト縮減を図ることを目的とする。

### 3. 新技術等の活用方針

費用の縮減や事業の効率化・工事期間の短縮を図るため、利尻富士町が管理する橋梁すべてについて、点検及び工事で NETIS や点検支援技術の新技術の活用の検討を行う。



## 5. 長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

- 橋梁点検結果を基に損傷に対する劣化予測を行い、計画的・予防的な対策を実施することで、大規模修繕・架替えによる高コスト化を回避し、必要予算の平準化を目指し全体のコスト縮減を図る。
- 高齢化の進む橋梁に対応するため、従来の事後保全的な対応から、予防保全的な対応に転換を図る。
- 5年ごとの橋梁点検の結果に基づき、予防保全型維持管理の観点から、橋梁の健全度把握及び損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直す。

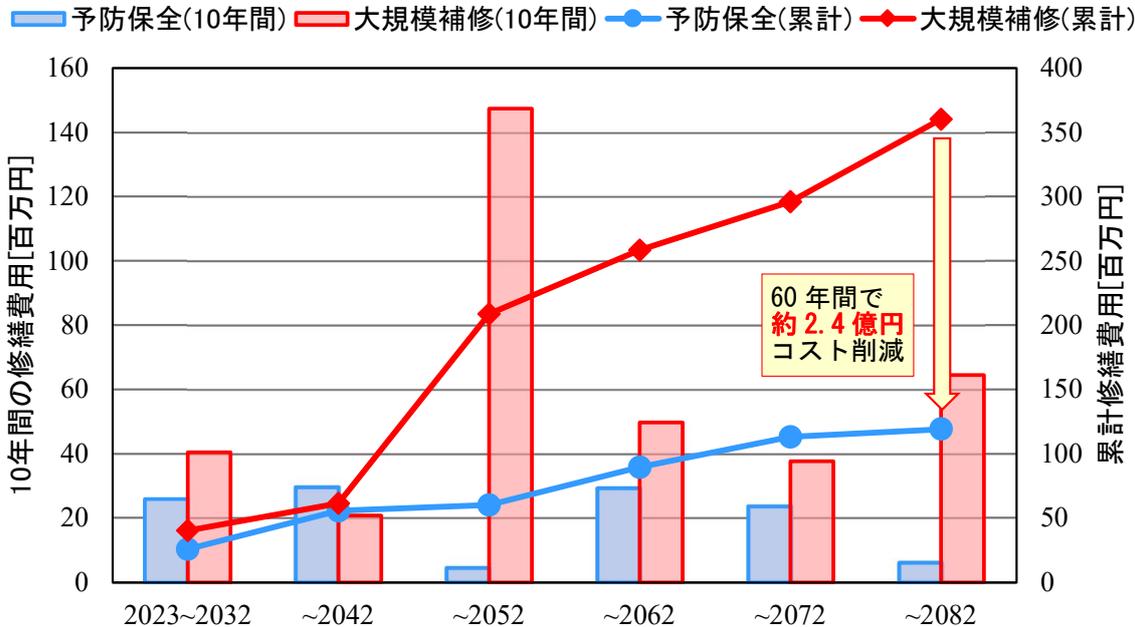
## 6. 集約化・撤去に関する方針

今後10年間の修繕計画では、橋梁の健全性等を考慮して集約化・撤去の必要はないと判断した。しかし、今後急激に損傷が進行するなどといった場合には、集約化・撤去等の検討を行う。

集約化・撤去ができない現状で、繰り返し修繕を行うことが合理的ではないと判断された場合には、更新や機能縮小を検討し、維持管理の効率化や費用縮減を図る。

## 7. 長寿命化修繕計画の効果

今後60年の修繕・架替え事業費等を試算した結果、予防保全型の累計は約1.2億円、大規模補修型の累計は約3.6億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約2.4億円（約33%）のコスト縮減効果が期待できる。



## 8. 計画策定担当部署

<計画策定担当部署>

利尻富士町役場 建設課 建設農林係 TEL : 0163-82-2511